

総務文教常任委員会会議録

1 開会の日時及び場所

- (1) 日 時 令和6年4月22日(月)午前9時45分開会
(2) 場 所 清川村庁舎 3階 第2・3会議室
厚木北消防署清川分署

2 委員現在総数 5名

3 出席委員数 5名

- (1) 出席委員 城所英樹委員長・小林大介副委員長・細野洋一委員
山本雅彦委員・藤田義友委員
(2) 事務局 井上竹夫事務局長、佐藤周平副主幹

4 欠席委員数 なし

5 説明等職員 山田総務課防災担当課長

6 傍聴者 なし

7 案 件

- (1) 厚木北消防署清川分署の現状について
(2) その他

8 経 過

- ◎ あいさつ 城所英樹委員長
◎ 議 事

(1) 厚木北消防署清川分署の現状について

別紙資料により、清川分署長より現状の説明を受け、その後清川分署内の視察を行った。

○ 質問・意見等

* 小林副委員長

能登の震災がありましたが、清川村で同レベルの大規模な災

害があった時に、こういった点が弱点になるのかお聞きしたい。また、消防の観点から見て、こういった場合の対策についてアドバイスをいただきたいと思います。

* 渡邊分署長

厚木消防としても今回の能登には緊急援助隊を派遣した。その時に良く聞いたことですが、宮ヶ瀬地区もそうですが、道路の寸断が致命的になってしまう。ある程度道路が整っていないと厳しい部分がある。後は、水の確保ですが、飲料水やトイレが使用できないといった課題があると思いますし、停電した場合の対応も難しい部分もあり、発電機なども必要ではないかと思う。

* 小林副委員長

道路が寸断された場合に、消防が特殊車両で対応することは可能ですか。

* 渡邊分署長

厚木消防では小さな重機を1台配備しております。以前に土木関係の方から、清川村の土木業者さんは、協力的であると聞いておりました。道路の復旧、車1台通れるスペースの確保など協力いただけると、以前お聞きしています。ただ1つ重機の運転をできる人がいないのが問題だと思います。

* 小林副委員長

次に、村の指揮系統と厚木消防の指揮系統があって、大規模災害時にはどのような連携をはかり整理していくのか。

* 渡邊分署長

もし災害があった場合は、119番していただければ、厚木の指令センターに入り、出動要請があれば出るといった対応になります。ただ、役場とのやりとりは、なかなかできないのが現状であります。

* 小林副委員長

大規模災害の時には、どこへ行きなさいとか、どこの優先度が高いなど、厚木消防の命令で動いていくのか。

* 渡邊分署長

厚木の対策本部が立ち上がり、清川村も立ち上がることになり、双方の連絡員として私が村と情報共有を図る形になります。

* 小林副委員長

消防団にどれほどの事が期待できるのか、自分自身を振り返っても、お役に立てる自信がない。これからの消防団は、救助や誘導、物資の配給や安否確認など、どこに力を入れていけばよいのか。

* 渡邊分署長

やはり、地域に密着しているのは消防団であると思う。あとは、地域住民のコミュニケーションですので、消防団が到着できない場合は近隣の方達や自治会など信頼がないと難しいと思います。ただ清川村は、ある程度近隣の方との接点が多いと思いますので、なにかあったら声をかけることも必要ですし、消防が到着するまでは、消防団や地域での協力等により進めるのが良いと思います。

* 小林副委員長

消防団の訓練内容は何をすればよいのか。

* 渡邊分署長

消防団ですので、火を消すというのがメインになるかと思います。ただ、消防団の幹部の方たちが何をやりたいかは決めていった方がよいと思いますし、私たちが協力できることがあればお教えすることもできます。

* 細野洋一委員

消防活動をしていく中で、清川村は狭隘道路が多いが課題はありますか。

* 渡邊分署長

狭隘道路は課題であります。あとは、防火水槽の設置とかも住宅地以外の場所で、例えば土山峠には防火水槽がなく山林火災などが発生した時には水の確保が難しい。防火水槽を地下に作るのが難しい箇所もあるが、地上に設置できる物もある

* 細野洋一委員

学校などによくあるタンクのような物でも良いのでは。

* 渡邊分署長

良いと思います。

* 細野洋一委員

そういった課題を村でも把握しながら、改善していかないといけない。また、消防活動に支障があるような物は改善していかねばいけない。

それと、防火水槽は私が子どもの頃には沢山あった。今は少なくなっているが、私は多くあった方が良いとおもいますが、その辺はどうでしょうか。

* 渡邊分署長

断水になってしまうと、皆さん大変困ってしまう。また、火災であれば、防火水槽があれば消火できるわけであります。ただ地下に作るとなると強度の問題などもでてくるわけですから、地上式の防火水槽の設置も容易であると考えられます。

- * 細野洋一委員
火災の消火だけでなく、生活用水として使えるのが良いと思います。
- * 渡邊分署長
やはり、地下式というのは汲み上げたりしなければいけないので、使えない場合があるので、地上式が良いと思われれます。
- * 細野洋一委員
厚木市を含めて、防火水槽について、今言われたことを実施された所はありますか。
- * 渡邊分署長
いろいろな場所（自治体）に設置されているので、私達も全て把握しているわけではありません。
- * 細野洋一委員
他の自治体での実施状況はわかりませんか。
- * 渡邊分署長
厚木市で過去にあった話ですが、道路用地の部分に防火水槽を設置した経過はあります。また、古くなった水槽を修理したということもあります。
- * 細野洋一委員
次に、資料7ページに書かれている到着時間について、令和5年度で平均12分3秒と記載してあるが、消防署から遠いところに行っているのか。
- * 渡邊分署長
あくまでも平均時間になっていますので、煤ヶ谷地区であれば早く到着できますが、宮ヶ瀬地区になると多少時間がかかってしまうことから、平均して記載の時間となっています。
- * 細野洋一委員
清川村のような広く自然豊かなところであり、少ない人数で活動しなければならないなか、消防団、消防職員の命を守っていかなければならない。村内でなにかあれば出動しなければいけないし訓練も行わなければならない。そういったことで、村に対して支援の要望などはありますか。
- * 渡邊分署長
現在、資機材も揃ってますし、訓練もできています。救助とかの場合は厚木の本部が来ますので、指揮隊から分署に指示がでます。
- * 細野洋一委員

先日、救急車を呼ぶときに、どこに来てほしいのか伝える方法について住民から聞かれた。

* 渡邊分署長

今はシステム上、GPSの機能が付いている携帯であればある程度場所は特定できます。また、住所氏名を伝えていただければ、119番が入った時点で出動させます。住所がわからない場合は近くの目標物を伝えていただければ出動できます。

(2) その他

・特になし

◎ 閉会あいさつ 小林大介副委員長

9 閉会の日時 令和6年4月22日（月）11時18分 閉会

上記のとおり相違ないことを証する。

令和6年4月22日

総務文教常任委員会委員長

成司英樹

